

# 一般質問(要旨)

第4回定例会では、12月5日、6日、9日、10日の4日間にわたり21人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。なお、※印の用語は7面に解説を掲載しています。

## 台風19号への対応について



伯江市議会公明党  
佐々木貴史

**問** ①避難所について垂直避難、校舎の上階活用を視野に水害時の避難所を見直すべき②市内大型店舗の立体駐車場などを避難所として活用するため協定への見解を伺う③臨時災害放送局として放送されたコマラジの効果を伺う④今回の浸水の原因究明調査はどういった調査を依頼するのか⑤多摩川護岸部の修復と土手天端の舗装について伺う⑥緊急対応として六郷排水樋管と猪方排水樋管の治水対策を伺う⑦排水能力の高いポンプ車両の配備の考え方を伺う⑧多摩川緑地公園グラウンドの整備を伺う⑨伯江市が災害救助法の適用になっても災害見舞金のルールは床上浸水が基準、床下浸水等の被害者には何もないというのが現状。床下浸水等でも肉体的、精神的につらい思いをされた被災者にせめてものお見舞いという形で市独自の支援として、対象の被災世帯から申請があれば銀行振込等で見舞金を届ける、この実施を要望する。

**答** ①垂直避難を含め避難所を見直す。②協定締結に向けて取り組む。③身近な放送局として定着することで災害時に有効な情報伝達手段となる。④樋管の開閉に伴う浸水被害のシミュレーションを行い、今後の対策を検討する。⑤市長が国に対し護岸部の復旧と天端舗装の緊急要望を行った。⑥水位計や監視カメラ、可搬式ポンプの設置、遠隔操作設計を行う。⑦市長が国に市近隣への排水ポンプ車の配備を要望。⑧復旧整備に向け努めているが、11月以降の着手となる見込み。⑨床下浸水であっても泥のかき出し作業など苦勞があったと認識している。いくらかの見舞金を支給したい。

## 今後における行財政運営について



伯江市議会公明党  
石川和広

**問** ①今後における水害対策について財政的見地からはどのように考えるか②有事に備えた予備費や財政調整基金の考え方は③予算の優先順位、緊急度の変化により、予定、計画されていた事業の内容、規模、実施時期の見直しもあり得るのか④災害復旧の財源にふるさと納税での支援は考えられないか⑤公共工事の平準化へ向けて「フレックス工期契約制度」や「早期契約制度」活用を考えた。⑥一般会計だけでなく、公共下水道特別会計の対策も重要。特に排水樋管は、早急な対応が必要⑦緊急時にも対応できるよう予備費の増額も必要。財政調整基金は20億円を目標に積立⑧状況の変化によっては、見直しも必要⑨河川敷の復興・復旧に特化したクラウドファンディングを活用したふるさと納税を呼びかけたい⑩他自治体の動向を注視し、関係部署と協議し研究する。

## 子どもの安全通行確保への環境整備について

**問** ①市内保育施設における児童の安全確保に関する点検についての取りまとめ結果内容とその対応・対策について②通学路における合同点検の状況と結果は③「キッズゾーン」設定の推進に関し、依頼・要請の通知はどのように市に下りているのか④「キッズゾーン」設定への取り組みを進め、未就学児等の安全通行確保への環境整備を図れないか

**答** ①危険箇所7カ所で合同点検を実施し、関係機関と調整。合同園長会で散歩時の安全確認について意見交換した②点検51箇所、対策が必要なものは9箇所、今年度末までに路面表示等対応予定③国の文書が東京都経由で通知されている④ゾーン設定の目的を認識し、施設との意見交換や情報収集等を行いながら安全確保に向け検討。

## 他に、健康維持・増進へのデータヘルスについて質問

## メンタル面で育児を支える「パパの子育て」と地域で支える「孫育て」について



伯江市議会公明党  
小野寺克己

**問** ①虐待予防や父親支援だけでなく「パパカード」は効果を増すために活用の仕方も重要と考えるが所感を伺う②乳幼児健診など子育てに役立つ母子健康手帳アプリの検討について伺う③スマートフォンで入園申請可能な電子申請の検討について伺う④孫育ての効果について、孫本人や父母、祖父母それぞれにおける効果について伺う。

**答** ①必要なタイミングで必要な情報を適量に伝えられるものと認識②育児負担の軽減と子育て世帯との関係性の向上に有効だが窓口対応にも効果がある。事例参考など調査・研究する③子どもの情緒安定や自己肯定感の向上、異なる価値観との接触。両親の負担軽減と良好な親子関係の構築。祖父母自身の生きがいづくりや地域との繋がりができる。

## 認知症やパーキンソン病の誘発要因 MTTB(軽度外傷性脳損傷)の啓発推進を

**問** ①MTTBはアルツハイマー病やパーキンソン病の誘発要因とわかってきたが、MTTBの適切な診断で認知症、パーキンソン病の予防につながるの考えについて伺う②全ての市民に対して頭部に打撃を受けた際に必ず医師によるMTTB検査を受診できるように実効性のある対策について伺う③専門の医師による診断が必要だが伯江市ではどこで診てもらえるのか。

**答** ①関連性は証明されていないが、専門医の診断を受け、適切な治療を行うことにより、将来的に顕在化する危険性のある症状の発生を防ぐことが期待できる。②市民だけでなく、公共施設等の職員にも、頭部に強い衝撃を受けた事案が発生した際には、速やかに専門の医療機関を受診するよう啓発する必要があると考えている。③伯江市は、東京慈恵会医科大学附属第三病院に専門の医師がいる。

## 「子どもの未来」のために



伯江市議会公明党  
山田幸子

**問** ①「子どもの権利条約」が採択され30年権利を考える際、とりわけ深刻なのは、いじめと児童虐待と考えるが見解は②権利条約でこれまで三つの議定書が採択、日本は二つを批准、内容と認識は③対策は④こまえ子育てプランに子どもの権利条約の普及啓発事業が位置づけ、取り組みと課題について⑤人権教育は子どもに生かされているか⑥子どもを守る大事な母子手帳に掲載を要望。

**答** ①いずれも深刻な人権侵害と考えている②特に児童ポルノはSNSの普及により子どもや若者のリスクが増している③国の総合対策にあわせて取り組みを推進④公立保育園で子どもの権利を尊重・擁護した保育方針に基づく保育を実施。永続的な取り組みが課題⑤児童生徒が主体的に取り組んでおり、一定の成果はあると認識している⑥今後作成する際には、母子手帳の内容について検討する。

## 「予防医療」について

**問** ①予防医療の重要性の認識が必要。市の予防検診の取り組みの考え方を伺う②がん検診制度はどう改善されたか③今後の取り組みについて④本年度から5年間、定期接種が延長された肺炎球菌ワクチン、接種率向上を図るための対策は⑤昨年度と今年度の接種率は⑥コルリコールの必要性は⑦風疹の抗体検査と予防接種の対象年齢が決まっている理由は⑧実施状況について⑨周知方法を伺う。

**答** ①市民が健康でいられるよう、がん検診実施の調整。女性医師による乳がん検診実施等③市外でも受診できるよう検討④広報、HPによる再度の周知⑤昨年度約32%、今年度10月31日現在約14%⑥広報、HPによる周知⑦年齢により、男性は風疹の予防接種を受けていないため⑧10月8日現在、抗体検査452人、予防接種94人⑨対象者にクーポンを送付。